



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 オプテックス株式会社

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	5,501	8.4	544	128.7	664	76.6	368	105.9
24年12月期第1四半期	5,075	7.3	238	△50.2	376	△28.8	178	△41.5

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 837百万円 (22.4%) 24年12月期第1四半期 683百万円 (38.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	22.27	—
24年12月期第1四半期	10.81	10.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	24,686	20,082	76.5
24年12月期	23,664	19,532	77.5

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 18,892百万円 24年12月期 18,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	19.8	740	38.3	770	18.8	460	106.3	27.79
通期	25,000	20.8	2,000	43.1	2,100	24.9	1,250	51.4	75.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	16,984,596 株	24年12月期	16,984,596 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年12月期1Q	433,502 株	24年12月期	433,232 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	16,551,278 株	24年12月期1Q	16,551,517 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済情勢は、国内においては新政権による経済政策への期待感と日銀の金融緩和が好感され、円高の是正や株価の上昇から輸出環境の改善や個人消費の持ち直しなど、緩やかながらも景気は回復基調で推移しました。

一方、海外におきましては、欧州における債務問題や中国をはじめとする新興国の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループをとり巻く環境におきましては、欧州景気の低迷、米国や中国の景気減速懸念などから輸出は全体として厳しい状況にある中、為替については円高が是正され米ドルや欧州通貨に対して円安水準となりました。当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルで前年同期の79.3円に比べ13.1円（16.6%）円安の92.4円、対ポンドでは同124.6円に比べ18.6円（14.9%）円安の143.2円、対ユーロでは同104.0円に比べ18.1円

（17.4%）円安の122.1円となりました。

このような状況の下、前年同期はオランダアムステルダムへのハブ倉庫開設に伴い、欧州主要代理店が現地在庫の調整を図った関係で一時的に受注が減少しましたが、当第1四半期連結累計期間は円安の影響も加わり、防犯関連の欧州地域向けや国内販売が好調に推移いたしました。また、円高時に製造したたな卸資産の販売により売上原価への円安影響が一時的に軽微なものとなり、売上原価率が低い水準で推移したことから、収益は大幅に伸びました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、55億1百万円と前年同期に比べ8.4%の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は5億44百万円（前年同期比128.7%増）、経常利益は6億64百万円（前年同期比76.6%増）、四半期純利益は3億68百万円（前年同期比105.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高38億43百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益3億88百万円（前年同期比95.7%増）となりました。

防犯関連につきましては、売上高28億9百万円（前年同期比13.1%増）となりました。海外におきましては、世界規模で高いシェアを有する屋外警戒用防犯センサの販売が堅調に推移し売上に寄与しました。国内におきましては、大型重要施設向け屋外センサの販売が好調に推移し前年実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、北米向けの売上は順調に推移したものの、欧州及び国内の売上が伸び悩み、売上高9億12百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

② F A事業

F A事業は、海外におきましては、欧州での金融不安の影響や中国における景気減速による設備投資抑制の影響を受け、需要は伸び悩みました。一方、国内におきましては、物流、工作機械、自動車関連業界で設備投資需要の持ち直しが見られました。その結果、売上高10億11百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益56百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品数量が減少したことにより減収となり、売上高2億5百万円（前年同期比8.4%減）、営業損失10百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は246億86百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億22百万円増加しました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が8億48百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は46億3百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億72百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加等により流動負債が4億57百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は200億82百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億49百万円増加しました。これは配当金の支払があったものの、当期純利益の増加により利益剰余金が1億20百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が4億41百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成25年2月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,912	7,201
受取手形及び売掛金	4,389	4,656
有価証券	851	999
商品及び製品	1,818	1,820
仕掛品	60	60
原材料及び貯蔵品	1,077	1,186
繰延税金資産	381	460
その他	460	419
貸倒引当金	△19	△21
流動資産合計	15,933	16,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,137	1,127
機械装置及び運搬具（純額）	324	361
工具、器具及び備品（純額）	277	257
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	21	36
有形固定資産合計	2,963	2,986
無形固定資産		
のれん	828	835
その他	504	522
無形固定資産合計	1,332	1,358
投資その他の資産		
投資有価証券	2,518	2,679
繰延税金資産	574	527
その他	387	398
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	3,434	3,559
固定資産合計	7,730	7,904
資産合計	23,664	24,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,031	1,250
短期借入金	483	481
未払法人税等	265	362
繰延税金負債	11	16
賞与引当金	82	205
役員賞与引当金	—	2
その他	839	852
流動負債合計	2,714	3,171
固定負債		
繰延税金負債	94	88
再評価に係る繰延税金負債	6	6
退職給付引当金	835	845
役員退職慰労引当金	465	477
その他	15	14
固定負債合計	1,416	1,431
負債合計	4,131	4,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	13,184	13,304
自己株式	△538	△538
株主資本合計	19,097	19,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	113
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	△803	△449
その他の包括利益累計額合計	△766	△324
新株予約権	9	11
少数株主持分	1,191	1,177
純資産合計	19,532	20,082
負債純資産合計	23,664	24,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	5,075	5,501
売上原価	2,645	2,603
売上総利益	2,429	2,897
販売費及び一般管理費	2,191	2,353
営業利益	238	544
営業外収益		
受取利息	14	16
持分法による投資利益	—	0
為替差益	121	82
受取賃貸料	4	5
投資事業組合運用益	—	2
その他	6	19
営業外収益合計	146	125
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	0	—
投資事業組合運用損	1	—
賃貸費用	4	4
その他	1	0
営業外費用合計	8	6
経常利益	376	664
特別利益		
固定資産売却益	—	0
持分変動利益	0	—
投資有価証券売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	380	665
法人税、住民税及び事業税	190	364
法人税等調整額	△4	△80
法人税等合計	185	284
少数株主損益調整前四半期純利益	194	381
少数株主利益	15	12
四半期純利益	178	368

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	100
為替換算調整勘定	427	355
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	489	455
四半期包括利益	683	837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	659	810
少数株主に係る四半期包括利益	24	27

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,536	956	223	4,717	357	5,075	—	5,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	563	563	18	581	△581	—
計	3,537	956	786	5,281	375	5,657	△581	5,075
セグメント利益又は損 失 (△)	198	45	△11	232	△0	232	5	238

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額5百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「センシング事業」セグメントにおいて、RAYTEC LIMITEDの全株式を取得し連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては820百万円であります。

② 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,843	1,011	205	5,060	440	5,501	—	5,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	674	682	11	693	△693	—
計	3,851	1,011	879	5,742	451	6,194	△693	5,501
セグメント利益又は損 失 (△)	388	56	△10	434	102	537	7	544

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額7百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。